

ふなばし若手経済ミーティング開催実績～ふなばしの未来をつくる若手が集結！～

ふなばし若手経済ミーティングとは…

市内ふなばし若手経済ミーティングでは、市内の若手事業者が農業・漁業・商業・工業の業種を超えて集まり、各々の強みを活かし、10年後・20年後を見据えて、船橋市を盛り上げていく活動を行っております。



経済ミーティング実行委員会設立

平成26年2月に、船橋市役所を会場にて、経済ミーティング“序章”として、プレ開催を行いました。

その後、平成26年8月に、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部、船橋青年会議所、ちば東葛農業協同組合青壮年部、市川市農業協同組合青年部、船橋市農業青少年クラブ、船橋市漁業協同組合青壮年部のメンバーを中心に**経済ミーティング実行委員会**を立ち上げて、「ふなばし若手経済ミーティング」の企画・運営を行っております。



◆ 第1章 ふなばし若手経済ミーティング 「さらなる魅力の発見と未知なる魅力の発掘」

日時：平成26年10月1日（水）
会場：船橋市役所本庁舎11階
参加者：120人（懇親会124人）

<実行委員会あいさつの様子>



【開催内容】

経済ミーティング実行委員会を立ち上げで初の開催。この年に就任した船橋市の小野 寛明 広報官を講師に「さらなる魅力の発見と未知なる魅力の発掘」をテーマに講演していただきました。

<講演会の様子>



◆ 第2章 ふなばし若手経済ミーティング 「船橋から元気発信」

日時：平成26年11月17日（月）
会場：船橋市役所本庁舎11階
参加者：121人（懇親会94人）

<講演会の様子>



【開催内容】

地域を盛り上げる様々な活動を行っている(株)m y ふなばし 代表取締役 山崎 健太郎氏による講演会「船橋から元気発信」を実施。

<懇親会の様子>



当日は山崎氏の貴重な体験談等のお話もあり参加者は熱心に耳を傾けておりました。

◆ 第3章 ふなばし若手経済ミーティング「市制80周年やオリンピックで我々ができること」

日時：平成27年2月17日（火）

会場：船橋グランドホテル2階

参加者：98人（懇親会99人）

<懇親会の様子>



【開催内容】

第三章では、市役所を飛び出し初の外部会場となる船橋グランドホテルでの開催と初の参加者によるグループディスカッションを行いました。

グループディスカッションでは「市制80周年やオリンピックで我々ができること」をテーマに、市内の若手事業者ならではのさまざまな意見が飛び交いました。



<グループディスカッションの様子>

【グループディスカッションでの主な意見】

- 船橋版オリンピックを開催～異業種で集まってコラボした祭典の開催
- 船橋食アスロン、市内80か所スタンプラリーの実施
- 芸術・スポーツ・食を組み合わせたイベントの実施
- ホームステイの受け入れやSNS等の口コミを利用して外国人の学びの場へ

◆ 第4章 ふなばし若手経済ミーティング 「今ふなばしに何かが生まれている」 「地元ふなばしみんなで何ができるか！」

日時：平成27年7月1日（水）

会場：船橋グランドホテル2階

参加者：128人（懇親会119人）

<グループディスカッションの様子>



<講演会の様子>



【開催内容】

第四章では、松戸 徹 船橋市長による講演「**今ふなばしに何かが生まれている**」と参加者によるグループディスカッション「**地元ふなばしみんなで何ができるか！**」の二部構成で開催いたしました。松戸市長が語る船橋市の未来や市内若手事業者への思いを聞いた参加者は、その後のグループディスカッションに真剣に取り組んでいました。

【グループディスカッションでの主な意見】

- 芸術・スポーツ・食を組み合わせたイベントの船橋フェスの開催。
- 二宮神社の七年祭りを一大イベントにするため外国人や地域に向けPR、神社めぐりマップ、神社スタンプラリー等の実施。
- グルメに焦点をあてた外国人誘致として、すずき、ホンビノス、のりを使ってオーデンセ市（デンマーク）、西安市（中国）、ハイワード市（アメリカ）の姉妹都市の料理を再現。調理方法に紹介することで船橋のPRにつなげる。

◆ 第5章 ふなばし若手経済ミーティング 「元南極観測船SHIRASE5002 見学」

日時：平成27年10月23日（火）

会場：元南極観測船SHIRASE5002

参加者：91人（懇親会91人）

<見学会の様子>



【開催内容】

第五章では、船橋市に係留されている元南極観測船SHIRASE5002の見学を行いました。当日は見学だけでなく南極観測におけるSHIRASEの功績や、なぜ今船橋に係留されているのかなど貴重な話を聞くことができました。

【SHIRASE5002に乗船した参加者の声（参加者アンケートより）】

- 初めて見てスケールの大きさに驚いた。歴代の観測船の中でも優秀な成績を収めていること、それが船橋に停泊している事を誇りに思う。
- 船の内部を知り、いろいろ苦勞されていることを知り、いろいろな人たちに知ってもらいたいと思いました。現場学習とかで利用してほしい。
- 青少年への環境学習、啓発、各団体での研修セミナー等での活用や、サッポロビール園と併せてコンベンションの利用も可能ではないかと感じた。

◆ 第6章 ふなばし若手経済ミーティング

「市制80周年をきっかけに！人と人とのつながりで私たちに何ができるか」

<グループディスカッションの様子>



日時：平成28年2月10日（水）

会場：船橋グランドホテル

参加者：115人（懇親会110人）

【開催内容】

「市制80周年をきっかけに！人と人とのつながりで私たちに何ができるか」をグループディスカッションのテーマに参加者同士が話し合い、「80周年を機会に軸となるテーマを決めよう！！」や「アンデルセンと巡る船橋市政80周年」などの意見が出ました。

【グループディスカッションでの主な意見】

- オール船橋ですべて船橋産の食材を使った料理をしたり、それを学校給食に広めていき食育などにつなげる。
- 船橋産の食材を使ってフェスティバルを行い、高齢者や子供には無料で食券を配布し食事ができるようにする。地域のつながりを創出しする。
- 四季を通じてアンデルセンの物語にちなんだイベントを開催する。
（夏に裸の王様、冬に雪の女王やマッチ売りの少女のイベントなど）
- 災害時をテーマに考え、日常のコミュニケーションが大切だと考えた。
清掃や道案内のイベントを通じてハザードマップなどの作成をする。

◆ 第7章 ふなばし若手経済ミーティング

「元南極観測船SHIRASEの現状と今後の利活用について」

日時：平成28年7月4日（月）

会場：船橋グランドホテル

参加者：81人（懇親会74人）

<講演会の様子>



【開催内容】

自身も南極観測船に乗船していた一般財団法人WNI気象文化創造センター 事務局長 三枝 茂氏による「元南極観測船SHIRASEの現状と今後の利活用について」の講演を行いました。参加者は三枝氏の話聞き、「SHIRASEについて活用」についてのアイデアをまとめ、第八章へつなげました。



<グループディスカッションの様子>

【グループディスカッションでのSHIRASE活用についての主な意見】

- 学校の校外学習施設としての利用。
- 合コン、街コン、結婚式などの式典等の利用。
- 移動してテーマパークなどの利用。
- 実際の南極観測の作業しているようにプロジェクションマッピング。
- 南船橋の駅舎にSHIRASEを直結させて博物館をつくる。

◆ 第8章 ふなばし若手経済ミーティング 「朝までとことん考えるSHIRASEの活用」

<講演会・グループディスカッションの様子>



日時：平成28年10月8日（土）、9日（日）
会場：元南極観測船SHIRASE5002
参加者：53人（懇親会53人）、宿泊32人

【開催内容】

第8章は、SHIRASE5002の活用について、朝までとことん考えることポイントに、プロの講師（上岡実弥子氏）を招き、「課題解決・原因追求から解決策立案まで原因を探り対策を導くセミナー」で学んだあと、各グループがグループワークで翌日のプレゼンに向けて徹底的にSHIRASE活用について考えました。

【グループディスカッションでのSHIRASE活用についての主な意見】

- 文化施設、校外学習の場、学校の体験学習の場として、市内小学校54校+市外の小学校にも使ってもらおう（体験学習）⇒理科社会の勉強。
- 食のテーマパーク海上レストラン「昭和基ッ地ン」として、近隣の食品コンビニナートの企業より食材を入手。その他、船橋産の野菜等を使うことにより輸送費の削減。南極と北極料理（サッポロビールが北極星なので）の提供。
- まずSHIRASEを認識してもらおうことが大事、そのために、SHIRASEの稼働率を上げるためレンタルスペースとして活用する。

◆ 第9章 ふなばし若手経済ミーティング 「28年度のまとめと次年度に向けて」

<講演会の様子>

日時：平成29年2月8日（水）
会場：船橋グランドホテル
参加者：101人（懇親会100人）



【開催内容】

第九章では平成28年度のまとめと次年度に向けて、「**経済ミーティングの底力**」をテーマに開催。

平成29年度に迎える市制80周年とこれまで考えてきたSHIRASEの活用法（第七章・八章）を合わせ、経済ミーティングでSHIRASEを会場にイベントの企画について発表を行いました。

懇親会では参加者へのインタビューや各団体のPRを実施し、参加者同士の交流を図りました。



<懇親会での映画『きらきら眼鏡』PRの様子>

【参加者へのインタビュー内容】

- SHIRASEを他市の方を交えた団体の役員会で会場として使用しました。他市の方々に大変好評でした。
- 経済ミーティングで多くの方と知り合えたので今後もディスカッションなど発言ができる場をたくさん作ってほしい。
- 今後はさらに、経済人として船橋市に提言できる会にしてほしい。

経済ミーティングプレゼンツ つながる船橋80年～再会SHIRASE×しらせ～

6年ぶりに船橋港に入港した砕氷艦「しらせ」と、先代の南極観測船「SHIRASE5002」が揃って一般公開されるのに併せ、再会「SHIRASE」×「しらせ」として、「マリンフェスタinFUNABASHI」、「チャレンジングSHIRASE2017第3回」、「経済ミーティングプレゼンツ つながる船橋80年」を開催。

経済ミーティングプレゼンツ
つながる船橋80年 開催趣旨



船橋市市制施行80周年を記念してふなばし若手経済ミーティングが主体となり、日頃、船橋市内で活躍されている方々・団体・お店による出店やステージを実施。



<会場の様子>



<会場の様子>



開催実績

- ・ 会 場： 船橋市高瀬町2番地
- ・ 日 時： 平成29年8月19日（土）,20日（日）
両日9時00分～15時00分
- ・ 来場者： 19日（土）2,519人
20日（日）5,765人
(2日間延べ8,284人)

※ 来場者数は、再会「SHIRASE」×「しらせ」全体（マリンフェスタinFUNABASHI、チャレンジングSHIRASE2017 第3回、経済ミーティングプレゼンツつながる船橋80年）の数値。

◆ 第10章 ふなばし若手経済ミーティング 「船橋の底力！思いのベクトルを一つに」

日時：平成30年2月5日（月）

会場：船橋グランドホテル

参加者：100人（懇親会85人）

【開催内容】

第十章では松戸 徹船橋市長による「船橋の底力！思いのベクトルを一つに」と題した講演と経済ミーティング実行委員会によるプレゼンテーションを実施しました。

市長の講演では、船橋の歴史や魅力、まちのポテンシャルについてお話をいただいた後で、実行委員会による「新たなチャレンジ」として、平成29年に新たに開通した都市計画道路3・4・11号線に色を付けたい！という思いから歩行者天国についてプレゼンテーションを実施。

立食形式で行った、懇親会では参加者によるPRを実施したほか、多くの参加者が熱心に交流を図っていました。

<講演会の様子>



<懇親会の様子>

◆ 第11章 ふなばし若手経済ミーティング 「市民会議inふなばし若手経済ミーティング」

<ワークショップの様子>

日時：平成31年3月20日（水）
会場：クロス・ウェーブ船橋
参加者：71人（懇親会68人）



【開催内容】

第11章では、船橋市の総合計画が平成32（2020）年度で期間満了を迎えるため、新たな総合計画の策定にむけて、市内24地区で行った市民会議の経済ミーティング版として、船橋の未来の街をよりよくする取り組みやアイデア等を市内で活躍する若手事業者目線で意見を出し合いながら検討するワークショップを実施しました。

ワークショップは業種ごとに9グループに分かれ、業種ならではの意見も交えたくさんのアイデアが発表されました。

懇親会でも、ワークショップのグループの枠を超えて参加者同士の積極的な交流が図られました。



<懇親会の様子>

◆ 第12章 ふなばし若手経済ミーティング

「スポーツの持つ力とは何か？～RWC2019日本大会を通して考えたこと～」

日時：令和元年11月28日（木）
会場：船橋グランドホテル
参加者：141人（懇親会110人）

【開催内容】

第12章では、日本中に感動を呼んだ「ラグビーワールドカップ2019」で、テレビ解説も務めた元クボタスパイアーズ監督で現日本ラグビーフットボール協会の山神孝志氏を招き、「スポーツの持つ力とは何か？～RWC2019日本大会を通して考えたこと～」をテーマにご講演いただきました。ラグビーの魅力だけでなく、チームとしてまちづくりに取り組むヒントなどのお話をいただきました。

また、立食形式による交流会では参加者によるPRを実施したほか、ラグビーを話題に参加者同士の業種を超えた積極的な交流が図られました。

<講演会の様子>



<交流会の様子>

